

重点目標一覧表

担当部局名	農林部
-------	-----

【平成26年度重点目標】

【平成27年度重点目標】

重点目標	地産地消の推進と都市農村交流による活性化	重点目標	地産地消の推進と都市農村交流による活性化		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）		
	達成状況・達成度		期限・数値目標等		
1	<p>6次産業化と農商工連携の推進 市民に地産地消の機運を醸成する取組 学校給食における地元産食材の利用割合を増加させる取組 食育の推進 グリーンツーリズムの推進</p>	<p>8事業所への制度周知、認定事業所2団体 ワイン特区の取得(11月)、産直まつり、日本 そばサミット、産直サミットの開催 地元産食材の利用割合 42.8% 農業関係機関との実施に向けた打合せ 3回 農山村留学71名受入、棚田オーナー24組 りんごオーナー 4ヶ所 244本</p>	<p>6次産業化と農商工連携の推進 市民に地産地消の機運を醸成する取組 学校給食における地元産食材の利用割合を増加させる取組 食農教育の推進 グリーンツーリズムの推進 農産物マーケティング戦略の推進</p>	<p>8事業所訪問、認定事業所1団体 ワイン用ぶどう新品種の試験栽培の実施 産直まつりの開催 地元産食材の利用割合 46% 野菜作りを通じた教育ファームの実施 棚田オーナー30組、りんごオーナー 4ヶ所 240本 長野県農産物マーケティング室への職員 派遣</p>	
2	<p>農地の有効利用、遊休荒廃農地の解消、鳥獣被害対策の推進</p>	<p>10地区で約4.9haを解消 農地貸借相談会開催、新規利用権設定面積 934筆、105.2ha 侵入防止柵 20地区 10.5Km 緩衝帯整備 山田地区 0.21ha</p>	<p>農地の有効利用、遊休荒廃農地の解消、鳥獣被害対策の推進</p>	<p>荒廃農地再活用面積 10ha 新規利用権設定面積 100ha 侵入防止柵 17地区 6.2Km 緩衝帯整備 山田地区 0.2ha</p>	
3	<p>地域で支える健全な森林の環境整備</p>	<p>協定締結(2地区)、同意作業継続(10地区) 間伐 53.16ha 伐倒くん蒸 6,731㎡、地上薬剤散布 9.5km 被害木チップ化 130㎡ 1地区で搬出間伐・切捨て間伐18.3haを実施 市内中学校、保育園で63㎡の市有林材を活用 ペレットストーブ5台に導入補助金を交付 森林の里親制度協定1件</p>	<p>地域で支える健全な森林の環境整備</p>	<p>県の森林税等を活用した里山整備事業の実施 松くい虫防除対策事業の推進 市有林環境整備の実施(平成28年度全国植樹祭準備含む) 森林の里親制度の実施(東山) 再生可能な木質エネルギーの利用促進</p>	<p>切捨間伐 180ha 伐倒くん蒸6,000㎡、地上薬剤散布 9.5km 被害木チップ化 100㎡ 搬出間伐・切捨て間伐 21ha(4地区) 下刈1ha、古損木伐倒380本、樹幹注入100本 ペレットストーブ5台、薪ストーブ4台</p>
4	<p>農業・農村の多面的機能の発揮と農業用施設の延命化及び防災対策の強化</p>	<p>ほ場整備2、集落道1、交流施設基盤1、河川協 議、ため池設計3池、地質調査4池、工事3池 基盤整備事業 塩田・上野原2地区 県営事業3地区(神川左岸・吉田堰・川西) 新規15地区 上田3池、丸子2池の堤体耐震性調査 23/35池が調査完了、15池で今後の対策が必要</p>	<p>農業・農村の多面的機能の発揮と農業用施設の延命化及び防災対策の強化</p>	<p>施設の更新等による農業生産基盤の安定化 機能診断に基づく基幹的水利施設の長寿命化 多面的機能支払交付金による地域資源の維持と保全 ため池等の防災・減災対策の実施</p>	<p>ほ場整備1、集落道1、交流施設基盤1、河 川協議、ため池設計7池、地質調査4池 工事6池、基盤整備事業 塩田・神科新屋 榎網・須川池3地区 県営事業3地区(神川左岸・吉田堰・川西) 新規12地区 上田7池、丸子5池の堤体耐震性調査 (H27で調査対象35池が完了)</p>
5	<p>人・農地プランの実行と農地利用集積の推進</p>	<p>19経営体へ青年就農給付金を交付 農地中間管理事業による農地集積 2.9ha 地区検討会を6回開催、2地区で中間管理事業 を活用した集積を開始</p>	<p>農地利用集積の推進と新規就農者の育成支援</p>	<p>農地中間管理事業を活用した農地集積 新規就農者の支援</p>	<p>重点地区における集積面積 20ha H27給付金交付 19経営体</p>

評価基準 [: 目標を上回る達成] [: 目標どおり達成] [: 目標未達成の部分あり] [× : 全て目標未達成]

市長指示事項	市長指示事項
<p>・6次産業化を具体的な形にするかがポイントとなる。具体化への努力すること。 ・学校給食における地元産食材の利用率は、教育委員会と協力し供給拡大を目標とし努力すること。 ・ペレットについて上田市の使用方法について研究すること。</p>	<p>・農業の担い手確保、農商工連携の視点を大切に、取り組むこと。・広域ワイン特区における上田市の優位性を活かせるよう担い手を支援すること。・健康分野と連携した食育事業を進めること。・農産物マーケティングについては、市として特徴のあるものを戦略に組み込むこと。・森林の環境整備は引き続き取り組むこと。・H28年度実施の全国植樹祭は、準備を万全にすること。・森林の里親制度については、支援者の意に沿えるような事業とすること。・農地中間管理事業は、関係機構と引き続き連携し取り組むこと。・ブランド品、認定品として数多くある中で特徴あるものが出せないか制度等研究すること。</p>